

# 協働のまちづくり

～地域で育てる「俵山地域協育ネット」の取組～ 【長門市 俵山中学校区】

## 地域の概要

長門市俵山地域は、下関市と接する長門市の南端部に位置し、標高約 140m の渓谷型高冷地にあります。

従来から地域と学校とのつながりは深く、文化の伝承や体験学習など地域総がかりで学校支援活動が行われています。

こうした中、その取組の一部を担っている俵山公民館は、平成 20 年 10 月から俵山地区発展促進協議会が指定管理者となり、地域が運営する公民館の特色を生かして、子どもから高齢者の方まで地域一体となって活動を展開しています。

人口	1,104 人	
世帯数	477 世帯	
対象校及び 児童生徒数	俵山中学校	23 人
	俵山小学校	36 人

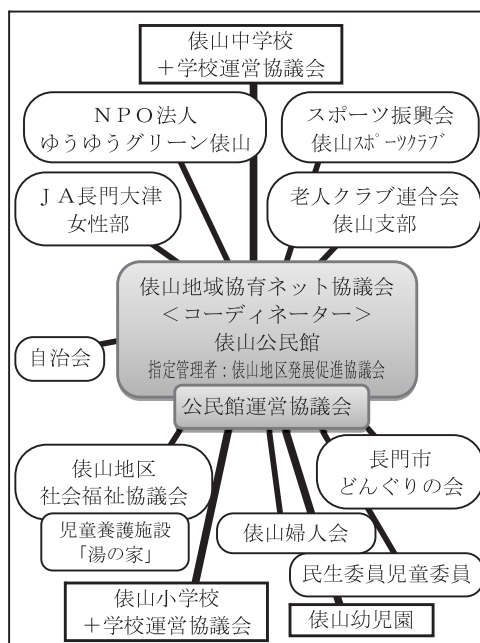
## 組織の内容

近年、過疎化と少子高齢化が進行する中、学校の存在は地域にとって大きく、様々な形で元気の源になっており、地域の方の子どもたちに寄せる期待は大きいものがあります。

こうした中、地域総がかりで学校を支援するため、かねてから地域づくりの主体となっている「俵山地区発展促進協議会」の構成団体等が中心となって、「俵山地域協育ネット協議会」（以下「協議会」という。）を組織し、取り組んでいくこととしました。

推進母体となるこの協議会では、学校・地域双方からの要望や情報を収集し、支援、交流等を企画運営することで、「地域総がかりで子どもを育てる」システムを構築することとしました。また、協議会に小・中学校の地域担当教員、公民館運営協議会地域づくり部会の委員及び公民館職員で幹事会をつくり、必要に応じて連絡調整をすることとし、学校等で支援がほしいときには、学校からコーディネーター（公民館長）に働きかけ、内容を検討し、各支援団体をお願いしています。

支援する団体は、自治会、婦人会、老人クラブ、NPO 法人ゆうゆうグリーン俵山、JA 長門大津女性部、長門市どんぐりの会、民生委員児童委員、スポーツ振興会等で、コーディネーターである公民館は協議会の企画運営や学校からの支援相談に対応するなどの役割を果たしています。



## 特色・重点的な取組

千年の歴史をもつ俵山温泉を擁する当地域には、長い歴史と豊かな自然・文化があります。県指定無形民俗文化財となっている「俵山女歌舞伎」は、地元保存会等が中心となって「子ども歌舞伎」として、現在、児童生徒により継承されています。小学生は「白浪五人男」、中学生は「五人三番叟」を俵山温泉祭や俵山地区文化産業祭などのイベントで披露しており、過疎化が進行する中、「俵山女歌舞伎」の継承は地域の方の誇りです。

また、子どもたちが積極的に地域づくり活動に参画しているのも大きな特色です。過疎化が深刻な俵山地区では、地域の方一人ひとりの危機意識が高く、まとまりがあります。校外活動・地域づくり活動において、子どもたちが活躍する姿が頻繁に見られます。

## 主な活動の紹介

### ○学校支援の様子

- ・ (小学校) 校外支援…田植・稲刈体験学習、竹の子掘り及び料理教室、河川プール開き、親子水辺の教室、一位ヶ岳登山道整備作業、いも植え・収穫体験等  
校内支援…高齢者の方との交流、「子ども歌舞伎」練習、  
放課後支援 (放課後子ども教室での放課後支援等)
- ・ (中学校) 校外支援…シャクナゲの花殻摘み体験、職場体験学習、野菜などの即売等  
校内支援…農園の手入れ、高齢者の方との交流、「子ども歌舞伎」練習、  
地域講師の講演等
- ・ (小学校・中学校) 温泉祭り・文化産業祭 (「子ども歌舞伎」実演)、秋葉祭 (相撲大会)
- ・ (幼稚園・小学校・中学校) 幼稚園・小学校低学年・中学校とのいも掘り体験交流  
幼・小・中・地域合同体育祭、スーパー<sup>みか</sup>山子づくり



田植え体験学習



竹の子掘り体験交流



スーパー<sup>みか</sup>山子づくり



高齢者の方との交流



「子ども歌舞伎」実演



秋葉祭 (相撲大会)



地域合同体育祭



放課後子ども教室 (お楽しみ会)

## 成果と課題

平成 23 年 5 月、俵山小学校と俵山中学校は、地域・保護者が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の指定を受けました。また、公民館を中心とした学校・家庭・地域の連携による「俵山地域協育ネット」の取組により、地域で子どもを育てる市民協働の教育支援体制が確立されました。

現在、様々な形で学校との連携による支援が行われていますが、更に学校の要望に応えるため地域にある人的資源を生かすことができる「人材バンク」を整備しました。また、公民館の地域づくり活動の一つとして、今年度「スーパー<sup>みか</sup>山子」を作製しましたが、この取組に園児・児童・生徒も参加しました。

子どもが減少し、地域の高齢化が進む中、今後も特色ある取組を推進していくためには、「人材バンク」を更に充実させ、一人でも多くの地域の方が教育支援等にかかわることができる体制づくりが必要であると感じています。

## 今後の取組

強固な「地域協育ネット」体制の中、地域全体で学校を支援することはもちろんですが、小中連携の視点も踏まえた取組を行うとともに、俵山幼稚園や小・中学校の家庭教育学級に対しても支援の拡充を図っていきたく考えています。

なお、児童生徒数が減少する中、スポーツ活動にも支障が出ていることから、スポーツクラブ等との連携により、児童生徒の参加機会を多くしたいと考えています。